

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 29 年 10 月 2 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	百日咳抗体 IgA	百日咳抗体 IgM
検査コード	7959（依頼、判定結果用） 7960（NTU 値用）	7961（依頼、判定結果用） 7962（NTU 値用）
JLAC10	5E101-0000-023-023-11	5E102-0000-023-023-11
診療行為コード	160194210	
検体量	血清 0.2 mL	
保存・容器	冷蔵・A1→A2	
実施料（判断料）	80 点（免疫）	
所要日数	4 ～ 7 日	
検査方法	ELISA 法	
基準値	8.5 未満 陰性（判定基準は下表をご参照ください）	

保険収載名称：百日咳菌抗体定性

《判定基準》

NTU 値*1	判定
<8.5	陰性
8.5～11.5	判定保留*2
>11.5	陽性

*1：NTU 値：ノバグノスト単位
（試薬名に由来する任意の単位）

*2：2～4 週間後に採血した血清による再検査
をお勧め致します。

《解 説》

「百日咳抗体 IgA」は、百日咳毒素（PT）および繊維状赤血球凝集素（FHA）の総IgA抗体価を測定し、「百日咳抗体 IgM」は、百日咳菌に対するIgM抗体価を測定します。

IgM抗体は病日15日、IgA抗体は病日21日をピークに発現し、IgA抗体はIgM抗体よりも持続することが臨床試験で確認されています。これらの抗体は、ワクチン接種の影響を受けないことから単血清での早期診断に有用とされています。